

横浜キネマ倶楽部
第48号 会報
2017年11月3日発行

第48回上映会



蔦哲一朗監督作品
2013年／日本／カラー／169分／ブルーレイ上映



(C) 2012 ニコニコフィルム

2017年11月3日(金・祝)

[上映時間] 12:30～15:20

[ゲスト] 蔦哲一朗 監督 15:30～16:00
(挨拶とトーク)

[会場] 横浜市西公会堂

「祖谷物語 -おくのひと-」

【ストーリー】

ある夏の日、川を遡るようにボンネットバスに乗って東京から青年・工藤がやってくる。自然豊かなこの田舎村で、工藤は自給自足生活を始めようとしていた。ところが、一見平和な村では、地元の土建業者と自然保護団体との対立や、鹿や猪といった害獣から畑を守ろうとする人々と獣の戦いなど、様々な問題が起こっていた……。

そんな中、工藤は人里離れた山奥でひっそりと暮らすお爺と春菜に出会う。電気もガスもなく、物

もほとんどない質素なこの家の生活は、時間が止まったかのようにゆっくりしている。お爺は毎朝、山の神様が祀ってある社まで山を登ってゆき、お神酒を奉納する。春菜は一時間かけて山を下って学校に通い、放課後はお爺の畑仕事を手伝う。効率とは無縁の2人の生活は、工藤の心をゆっくりと浄化していく。

しかし、季節が巡るにつれ、おとぎ話のようなお爺と春菜の生活にも変化が起きる。

【スタッフ】

監督…………… 蔦哲一朗

脚本…………… 蔦哲一朗 河村匡哉 上田真之

撮影監督… 青木穰

照明…………… 中西克之

録音…………… 上條慎太郎

音楽…………… 川端啓太

衣装…………… 田中美紗紀 渡邊彩香

ヘアメイク… 桑本勝彦

スチール…… 内堀義之



【キャスト】

春菜…………… 武田梨奈

お爺…………… 田中泯

工藤…………… 大西信満

アキラ…………… 村上仁史

琴美…………… 石丸佐知

マイケル…… クリストファー・ペレグリエ

修二…………… 森岡龍

雨宮先生… 河瀬直美



(C) 2012 ニコニコフィルム

【蔦哲一朗プロフィール】

(つた・てついちろう) 1984年生まれ、徳島県出身。

野球の有名なその町で小中高とサッカーに明け暮れ、大学進学のため上京。東京工芸大学の授業で16mmフィルムでの映画を作成し、映画の楽しさに出会う。

その後、白黒フィルムの映画製作に興味を持ち、独自の方法で自家現像や焼き付けなどすべての作業を行い、前作『夢の島』を発表。映画黄金期を彷彿させるビジュアルが話題となり、国内外の映画祭で好評を博する。

【撮影後記】

私は祖谷の山々を駆け巡り、探しまわった。この物語に出てくるお爺と春菜のように、山奥で自給自足の生活をしている人間を。川から水を汲み、木を拾って火をおこし、山を耕し野菜を育てる人間が、もしかしたらこの秘境にならまだいるかもしれないという少しの期待を持って、私はひたすら祖谷の山奥を探し歩いた。しかし、荒れた山道を登っても登っても、出会うのは腐った茅葺屋根の家と廃集落だけだった。もう日本にはお爺はいないのである。そこにあるのはお爺がいたというわずかな痕跡と、それを呑み込まんとする草木の存在だけであった。

またこの映画のために我々スタッフは人里離れた山奥で畑を耕し、蕎麦を育てたが、なるほど、この土地には人間や獣以外の存在が確かにいるのである。今回その奇妙で曖昧な存在を、幸運にもフィルムに焼き付けることができた、私は確信している。

監督：蔦哲一朗

【祖谷という土地について】

「祖谷(いや)とは、西祖谷山村と東祖谷山村合わせて40近くの集落からなる祖谷山地方の通称である。現在は、徳島県三好市に合併され、総面積約335km²(東京23区の約半分)、人口3500名ほどが生活する限界集落である。

四国のほぼ中央に位置する祖谷は、標高1000m超えの山々と断崖絶壁の峡谷に囲まれ、古くから人間が踏み入れることを阻み続けてきたために、日本三大秘境の一つとしてもその名を知られてきた。また冬には大雪が積もって外界から孤立する

ため、祖谷には独特の文化と生活習慣が形成され、平地の人々は、祖谷の人々のことを山奥に住む人という意で「おくのひと」と呼んだのであった。今では1920年に開通した祖谷街道や1974年に開通した祖谷溪道路により、徳島市や松山市から車で2時間半ほどで訪れることができるようにはなったが、祖谷の延々と続く険しい山々と山水画のような峡谷は、現在でも十分に秘境の地としての風格を感じさせてくれるのである。

(『祖谷物語 -おくのひと-』パンフレット・公式ホームページより)

次回上映会のお知らせ

第48回上映会にご来場ありがとうございました
次回、第49回上映会のご案内が出来ずに申し訳ありません
日時、会場、上映作品について、運営委員会で検討中です
(2018年 春の予定)

来場者の皆様には決まり次第、ハガキ、メール等でお知らせいたします
しばらくお待ちください

<<<<< 横浜キネマ倶楽部のスタッフ募集 >>>>>

横浜市民とともに11年、映画好きが集まったグループです。
「自分が観たい」「他に人にもこんな良い作品をみてほしい」
とできたのが当倶楽部です。ぜひ仲間になってください。

ご関心のある方は下記までご連絡ください。
080-4022-1254
横浜キネマ倶楽部 事務局長 神谷 (かみや)

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

発行：横浜キネマ倶楽部



〒231-0012 横浜市中区相生町1の15
第2東商ビル4階-C 労働市民法律事務所
気付
TEL:080-8118-8502 (10時~18時)
Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス:http://ykc.jimdo.com